

令和8年度 第2回 気仙沼地区教科用図書採択協議会 議事録

○日 時 令和8年7月28日(火)
午後2時00分～午後2時50分

○場 所 気仙沼市役所魚市場前庁舎 第1会議室

○出席委員 委員(会長) 小 山 淳 気仙沼市教育委員会教育長
委員(副会長) 小 松 祐 治 南三陸町教育委員会教育長
委員(監事) 及 川 貢 南三陸町教育委員会事務局長
委員 小野寺 直 美 気仙沼市教育委員会学校教育課長
欠席委員無し

○説明員(代表専門委員)

五十嵐 英明 名足小学校 校長
学校教育法附則第9条の規定による教科用図書

○出席職員(事務局)

事務局員 熊谷 憲久 気仙沼市教育委員会学校教育課課長補佐兼学事係長
事務局員 高橋 遼子 気仙沼市教育委員会学校教育課主事

1 開 会(午後2時)(進行:熊谷)

2 挨拶(小山会長)

本日は第2回目の採択協議会開催となるが、これまで審議会2回、専門委員による調査研究を1回行い、本日を迎えることができた。御協力いただいた皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本日厳選な採択事務を進めて参りたいと思うので御協力をお願いしたい。

また、本日のメインテーマは教科用図書の採択ではあるが、次年度の採択に関わる部分についても御共有をお願いしたいと思う。

3 会議録署名委員の指名

南三陸町教育委員会 小松委員にお願いする。

4 協 議 (議長:小山会長)

(1) 報告第1号 令和9年度使用教科用図書に係る選定審議会答申について(説明 熊谷)

- 答申書を読み上げて報告
- 質疑なし

○ 承認

(2) 報告第2号 令和9年度使用教科用図書採択調査研究資料について(説明 熊谷)

- これは7月13日に本吉公民館において開催した専門委員会で作成した調査研究資料である。詳細について代表専門委員より説明いただく。

(代表専門委員 五十嵐校長入室)

○ 学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書)の調査研究について報告

今回の特別支援教育一般図書については資料のとおりだが、特徴となる何点かについて説明させていただく。

まず、視覚的なわかりやすさ、きめ細やかな体裁がなされているという点。カラーユニバーサルデザインであり、文字の大きさ、配置、写真や図が見やすくなっているものや、オールカラーで多くの漫画が掲載され、学習への意欲喚起がしやすい工夫がなされているもの、全ての漢字に振り仮名が振られ、読みやすさに配慮されているものがある。また、全て平仮名、片仮名標記で優しい言葉で表現された図書もあり、ゆっくり自分のペースで学ぶ児童生徒にとって情報が読み取りやすく、安心して学習に取り組むことができるようになっている。

次に、日常生活や将来の社会的自立を意識し、段階的に学べる内容構成となっていること。スマートフォン使用における実生活の具体的リスク場面をもとに、生徒が自分事として考えられるものや、将来の社会的自立に向けて時間や金銭管理、就労を見据えた内容が設定されたもの、身近な気象現象や医薬品などについて実験や観察、調べ学習を通して主体的に理解を深められるものなどがある。実際の生活をイメージしながら、基礎的な知識を身につけさせ、思考、判断、表現できる力を育むことが出来るなど、一人一人のニーズに合わせ、個に応じた支援や、自立への動機付けがしやすいものとなっている。

3つ目は操作や体験、言葉のリズムを通して主体的、対話的な学びを促す仕掛けが多いこと。イラストのページに隠し扉の仕掛けが施され、児童の集中力を高めたり、興味関心を掘り起こしたりできるもの、操作のボタンの絵柄や実物のボタンにより、字を読むことが難しい児童も主体的に歌や手遊びを楽しめるもの、繰り返されるリズムを真似することで、言葉や体の動きを楽しめるもの、見開きに質問例が明示され指差しや簡単な言葉のやりとりを生み出しやすくするものなどがある。どの図書も指導者や友達とのやりとりを楽しみながらコミュニケーションを深めることで、対話的な学びを進めることができる内容となっている。

まとめとして、実際の生活をイメージした課題解決的な構成や、自らの体験をもとにした問題解決学習を進められる図書が多く、児童生徒の興味関心を高め、主体的な学びや生きる力を育むことにつなげやすいものとなっている。一人一人のニーズに応じた合理的配慮を含め、様々な配慮がなされた一般図書が選定されていることがわかった。



○ 承認

(2) 報告第2号 令和9年度使用教科用図書採択調査研究資料について(説明 熊谷)

○ これは7月13日に本吉公民館において開催した専門委員会で作成した調査研究資料である。詳細について代表専門委員より説明いただく。

(代表専門委員 五十嵐校長入室)

○ 学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書)の調査研究について報告

今回の特別支援教育一般図書については資料のとおりだが、特徴となる何点かについて説明させていただく。

まず、視覚的なわかりやすさ、きめ細やかな体裁がなされているという点。カラーユニバーサルデザインであり、文字の大きさ、配置、写真や図が見やすくなっているものや、オールカラーで多くの漫画が掲載され、学習への意欲喚起がしやすい工夫がなされているもの、全ての漢字に振り仮名が振られ、読みやすさに配慮されているものがある。また、全て平仮名、片仮名標記で優しい言葉で表現された図書もあり、ゆっくり自分のペースで学ぶ児童生徒にとって情報が読み取りやすく、安心して学習に取り組むことができるようになっている。

次に、日常生活や将来の社会的自立を意識し、段階的に学べる内容構成となっていること。スマートフォン使用における実生活の具体的リスク場面をもとに、生徒が自分事として考えられるものや、将来の社会的自立に向けて時間や金銭管理、就労を見据えた内容が設定されたもの、身近な気象現象や医薬品などについて実験や観察、調べ学習を通して主体的に理解を深められるものなどがある。実際の生活をイメージしながら、基礎的な知識を身につけさせ、思考、判断、表現できる力を育むことが出来るなど、一人一人のニーズに合わせ、個に応じた支援や、自立への動機付けがしやすいものとなっている。

3つ目は操作や体験、言葉のリズムを通して主体的、対話的な学びを促す仕掛けが多いこと。イラストのページに隠し扉の仕掛けが施され、児童の集中力を高めたり、興味関心を掘り起こしたりできるもの、操作のボタンの絵柄や実物のボタンにより、字を読むことが難しい児童も主体的に歌や手遊びを楽しめるもの、繰り返されるリズムを真似することで、言葉や体の動きを楽しめるもの、見開きに質問例が明示され指差しや簡単な言葉のやりとりを生み出しやすくするものなどがある。どの図書も指導者や友達とのやりとりを楽しみながらコミュニケーションを深めることで、対話的な学びを進めることができる内容となっている。

まとめとして、実際の生活をイメージした課題解決的な構成や、自らの体験をもとにした問題解決学習を進められる図書が多く、児童生徒の興味関心を高め、主体的な学びや生きる力を育むことにつなげやすいものとなっている。一人一人のニーズに応じた合理的配慮を含め、様々な配慮がなされた一般図書が選定されていることがわかった。



○ 承認（小学校用及び中学校用の教科用図書）

・小山議長 一般図書について、今回新たに調査研究した 10 冊を加える形で採択して良いか。

○ 承認（一般図書）

（４） その他 令和９年度採択協議会負担金について（説明 熊谷）

○ 資料に沿って説明

○ 質疑

・小松委員 クラス数は小中合算されたものか。

・事務局（熊谷） そのとおりである

・小山議長 よろしければ、事務局案をお認めいただけるか。

○ 承認

５ 閉会挨拶（小松副会長）

令和８年度の気仙沼地区教科用図書採択協議会、度重なる会議大変お疲れ様でした。今年度も採択に係る基本方針に則り、厳正に滞りなく協議することができた。教科用図書の事務については厳正さ、機密が求められるので、事務局においてはこれまで同様最後まで事務処理をお願いしたい。また、来年度に向けても下準備ということで見通しを立てたところである。それに向けて準備を進めていただきたい。

７ 閉会（午後２時５０分）

上記記録の正確なるを認め、ここに署名する。

令和８年７月２８日

会議録署名委員

小松 祐治